

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する対応について

1 難民選手団のホストタウン登録

区は、姉妹都市のドイツ・カイザースラウテルン市が難民を受け入れていたことをきっかけに、これまで難民の理解を深める事業や難民施設への寄付などの支援に取り組んできた。これらの経緯から、東京 2020 大会の難民選手団ホストタウンとして、昨年 2 月に申請した。

その後、内閣官房を通じて、国際パラリンピック委員会（IPC）や国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）などの関係機関と、パラリンピック難民選手団事前キャンプの受入れ及び事前・事後交流の実施について協議を進めており、今年度内のホストタウン登録を目指し、現在最終的な調整を行っている。

2 文の京 2020 ボランティア募集

聖火リレーの沿道整理やコミュニティライブサイト会場における観覧者の誘導など、大会関連事業に従事する区独自のボランティア(中学生以上、一日のみの従事も可)を募集する。

<募集期間> 令和 3 年 1 月 25 日から令和 3 年 3 月 26 日まで

<申込方法> 特設ホームページから直接申し込み

<周知> 区報ぶんきょう、区ホームページ、SNS、動画配信等

<その他> 各大学や消防団へ協力を依頼済

3 シティドレッシング（都市装飾）

東京 2020 大会に向けた気運醸成事業として、シビックセンター及びシビックセンター周辺の公園・道路等を大会公式ロゴ等により装飾する。

<実施時期> 令和 3 年 3 月下旬

4 公式練習会場

東京 2020 大会の公式練習会場となる文京スポーツセンターの使用について、大会が 1 年延期されたことに伴い、「使用期間に関する変更覚書」を昨年 8 月に締結し、今年度中に協定を締結する。

<公式練習会場使用期間> 令和 3 年 6 月 28 日から令和 3 年 9 月 10 日まで

<施設利用中止のお知らせ> 各競技団体や指定管理者等へ周知済

<一般利用者へのお知らせ> ホームページ等で周知済。新年度改めて区報等で周知する。

5 聖火リレー

組織委員会や東京都と連携し、ゴール地点で行うミニセレブレーションに合わせ、区独自のウェルカムプログラムを実施する。なお、パラリンピックの聖火については、区において採火式を実施する。

<オリンピック聖火リレー> 令和 3 年 7 月 20 日

<パラリンピック採火式及び聖火リレー> 令和 3 年 8 月 20 日